

令和3年度 第3回弘前市廃棄物減量等推進審議会会議録

○会議開催の方法 書面会議

- ・事務局から各委員へ会議資料を送付
- ・各委員は案件ごとに了承の可否と意見等を記入して返信

○会議資料送付日 令和4年3月10日（木）

○意見等提出期日 令和4年3月25日（金）

○意見等提出委員 樋口会長、阿保委員、安東委員、飯田委員、石田委員、石塚委員、太田委員、小田桐委員、加藤委員、佐藤（康）委員、佐藤（八）委員、西村委員、三橋委員、米谷委員
14名全員提出

○内 容

1 会議

(1) 【案件1】弘前市食品ロス削減推進計画について

委員全員によって承認された。

主な意見等

- ・食品ロスに関する情報発信では、テレビの活用も良いと思う。
- ・コンビニやスーパーに「ミニ・キューロ」を設置して推進してみたらどうか。

(2) 【案件2】令和3年度廃棄物施策の実施状況について

委員全員によって承認された。

主な意見等

- ・各種回収ボックスがどこにあるかわからない人が多いと思うので、もう少し広める方法があれば良いと思う。
- ・ごみ収集アプリのQRコードを回収ボックスが設置されている所などに掲示し、市民に利用を促した方が良い。
- ・食品ロス削減啓発キャンペーンはスーパーでよく見かけた。スーパーでも見切り品コーナーを設置し、お客さんも手に取っていた印象がある。
- ・事業系ごみの展開検査は行政の指導による成果が出ていると感じる。継続することで排出者、事業者の意識向上につながっていくと思う。

(3) 【案件3】令和4年度弘前市一般廃棄物処理実施計画について

委員全員によって承認された。

主な意見等

- ・ごみ収集アプリのお知らせは、アプリを起動しないと着信がわからないので、

- 収集日のアナウンスのようにポップアップで知らせてくれるようにできないか。
- ・ 3Rの推進では、不用になったランドセルを有効活用できないか検討してもらいたい。

(4) 【案件4】プラスチック資源循環促進法について

委員全員によって承認された。

主な意見等

- ・ 分別の事を考えると、ルールを守らない人や高齢者の対応に課題がある。収集運搬経費が増加するため、市民への負担もある。
- ・ プラスチックが「燃やせるごみ」に分別されていたため、ごみの量が多かった。資源として認識されれば、分別も進むのではないか。
- ・ 包装（特に食品）を非プラに替える方策はないものか。
- ・ 分別、収集で市民の混乱が生じることが予想される。分かりやすさを大事にし、十分な啓蒙と周知の機会を作って、準備をお願いしたい。

○資 料

- ・ 【資料1】 弘前市食品ロス削減推進計画について
- ・ 【資料2】 令和3年度廃棄物施策の実施状況について
- ・ 【資料3】 令和4年度弘前市一般廃棄物処理実施計画について
- ・ 【資料4】 プラスチック資源循環促進法について
- ・ 【別 添】 「弘前市食品ロス削減推進計画案」
「なごみ生活」（令和4年3月15日発行）